

5年—Unit 7

単元名

Where is the treasure?

位置と場所

1. 単元目標

- ・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。(知識及び技能)
- ・道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

2. 言語材料

- Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (at the third corner). You can see it on your [right / left]. It's [on / in / under / by] (the desk).
- 身の回りの物 (cup, basket, bat, castanets, compasses, dice, glasses, globe, glove, map, mat, piggy bank, wall, whistle, yo-yo), 施設・建物 (fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, park), treasure, block, in, under, by, corner
[既出] 動作, 施設・建物 (library, school, park, station, bookstore), 身の回りの物, right, left, straight, cap

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

読むこと	イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
書くこと	ア 大文字, 小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【】, ○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 宝物 【Let's Watch and Think】 p.50, 51 ・映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。</p> <p>○コマンド・ゲーム ・指導者が言う通りに、言われた物を置く。 ○どこにあるかな。 【Let's Play 1】 ポインティング・ゲーム p.50, 51 ・ペアか個人で、指導者が言うものをさし示す。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <p>○Let's Read and Write ① ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線の上に書く。</p> <p>○絵本を読もう。 ・絵や文字を見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。<行動観察・振り返りカード点検>
2	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>【Let's Watch and Think】 p.50, 51 ・映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。</p> <p>【Let's Listen 1】 p.52 ・やり取りを聞いて、探し物がどこにあるかを考えて誌面イラストに印</p>	

	<p>を付ける。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンド・ゲームをする。 <p>指導者が言うのを聞いて、言われた物を言われた通りのところに置く。</p> <p>【Let's Play 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人がある物を選び、場所に関するヒントをもとに、他方はそれが何かを考えて答える。 <p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線の上に書く。 	<p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
<p>3</p>	<p>◆ある物の場所や物の位置関係を表す表現を、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 指導者の家 (部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマンド・ゲームをする。 ・ペアの相手に言われた物を言われた命令通りの場所に置く。 <p>【Let's Listen 2】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞いて、登場人物の部屋がどれかを記入する。 <p>【Let's Play 3】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人が4つの中から部屋を選ぶ。物がある場所の説明を聞き、他方はそれがどの部屋かを答える。 <p>○Let's Read and Write ③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストが示す語の最初の小文字を選んで、4線の上に書く。 <p>○絵本を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や文字を見ながら読み聞かせを聞く。 	<p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
<p>4</p>	<p>◆建物の言い方や、道案内の表現を知り、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>○Small Talk : 様々な施設</p> <p>○フェイント・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道案内の音声を聞いて、どこの建物に行くかを考えて発表する。 <p>○Let's Read and Write ④ (p. 54)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの文字を見つけ、その単語を書き、類推しながら読む。 <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
<p>5</p>	<p>◆道案内の表現を聞いたり言ったり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>○コマンド・ゲーム</p> <p>【Let's Listen 4】 ① p.56, 57</p>	

	<p>・道案内の音声聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。答えを確認して言う。</p> <p>○Let's Read and Write ⑤</p> <p>・4か所で見つけたものの最初の文字を、4線上に書き写す。</p> <p>【Let's Play 4】 p.54</p> <p>・誌面地図を見てペアで道案内をして、相手を目的地に案内する。</p> <p>○絵本を読もう。</p> <p>・絵や文字を見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
6	<p>◆ある物の場所を尋ねたり答えたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。</p> <p>○Small Talk : 校内の好きな場所</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <p>・チャンツを選んで言う。</p> <p>【Let's Listen 4】 ② p.56, 57</p> <p>・道案内の音声聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。</p> <p>○Let's Read and Write ⑥</p> <p>・4か所で見つけたものの最初の文字を、4線上に書き写す。</p> <p>【Activity】 p.56, 57</p> <p>・イラストから宝物を1つ選び、ペアで Where is your treasure? と尋ね、道案内から宝物が何であったかを Your treasure is ~. と答える。</p>	<p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎ある物の場所を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
7	<p>◆ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合うとともに、他者に配慮しながらある物やそれがあある場所について説明しようとする。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <p>・チャンツを選んで言う。</p> <p>○宝物を探そう。</p> <p>・ペアで協力して、教室に隠された暗号カードを見つける。</p>	<p>◎ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p> <p>◎他者に配慮しながら、ある物やそれがあある場所について説明している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>
8	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができる。</p> <p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <p>・チャンツを選んで言う。</p> <p>○Let's Read and Write ⑦</p> <p>・ワークシート (Unit 7-3) にアルファベットの文字を書き写し、単語を完成させる。</p> <p>○宝物が何かを解明し、自分の宝物を探そう。</p> <p>【STORY TIME】 p.55</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎アルファベットの活字体の小文字を書いて単語を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p> <p>◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉</p>

<p>5年 Unit 7—Lesson 1 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 1/8時間</p> <p>目 標 ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>準 備 宝物やその写真など (Small Talk 用), 児童用テキスト, 教師用カード (位置, 物), ワークシート (Unit 7-6), 消しゴムなど, デジタル教材, 振り返りカード</p>

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物		
5分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 ○Small Talk : 宝物 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 宝物について話す。顔の表情豊かにジェスチャーを付けて児童が理解できるように話す。 	宝物やその写真など		
<p>Small Talk の例</p> <p>T: Look at this. This is my treasure. My treasure. What is it? Can you guess what it is? A letter? Yes, that's right. This is a letter. A letter from who? Who gave it to me? A friend? My friend? Yes, that's right. From my friend. This is the letter from my friend, Chiharu. She was my best friend in elementary school. We were very good friends. Then she moved to Hokkaido with her family. We said goodbye. (別れるジェスチャーをしながら) I was very sad. (泣くジェスチャーをしながら) She gave me this letter. It's a very nice letter! It's very important to me. This is my treasure. What's your treasure?</p>					
8分	<p>【Let's Watch and Think】 p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> 視聴する前に、児童用テキスト p.50, 51 を開けさせ、机の上等にどのようなものがあるか発表させる。その後、デジタル教材でQ 1～10を視聴する。 聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて児童の答えやつぶやきを拾いながら、場所を表す語句や表現を確認する。また、ジェスチャーを交えるなどして、児童が内容を推測しやすいようにする。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (前置詞, 物)		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>No.1 : A yoyo. It's on the desk.</p> <p>No.2 : A pencil case. It's by the book.</p> <p>No.3 : A pencil. It's in the pencil case.</p> <p>No.4 : A clock. It's on the wall.</p> <p>No.5 : A watch. It's under the book.</p> <p>No.6 : A cup. It's by the scissors.</p> <p>No.7 : A glue stick. It's in the box.</p> <p>No.8 : A ruler. It's in the cup.</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>No.9 : Glasses. They are on the notebook.</p> <p>No.10 : Color pencils. They are under the calendar.</p> <p>1. Where is my ruler? It's in the cup.</p> <p>2. Where is my watch? It's under the book.</p> <p>3. Where is my cup? It's by the scissors.</p> <p>4. Where is my glue stick? It's in the box.</p> </td> </tr> </table>				<p>No.1 : A yoyo. It's on the desk.</p> <p>No.2 : A pencil case. It's by the book.</p> <p>No.3 : A pencil. It's in the pencil case.</p> <p>No.4 : A clock. It's on the wall.</p> <p>No.5 : A watch. It's under the book.</p> <p>No.6 : A cup. It's by the scissors.</p> <p>No.7 : A glue stick. It's in the box.</p> <p>No.8 : A ruler. It's in the cup.</p>	<p>No.9 : Glasses. They are on the notebook.</p> <p>No.10 : Color pencils. They are under the calendar.</p> <p>1. Where is my ruler? It's in the cup.</p> <p>2. Where is my watch? It's under the book.</p> <p>3. Where is my cup? It's by the scissors.</p> <p>4. Where is my glue stick? It's in the box.</p>
<p>No.1 : A yoyo. It's on the desk.</p> <p>No.2 : A pencil case. It's by the book.</p> <p>No.3 : A pencil. It's in the pencil case.</p> <p>No.4 : A clock. It's on the wall.</p> <p>No.5 : A watch. It's under the book.</p> <p>No.6 : A cup. It's by the scissors.</p> <p>No.7 : A glue stick. It's in the box.</p> <p>No.8 : A ruler. It's in the cup.</p>	<p>No.9 : Glasses. They are on the notebook.</p> <p>No.10 : Color pencils. They are under the calendar.</p> <p>1. Where is my ruler? It's in the cup.</p> <p>2. Where is my watch? It's under the book.</p> <p>3. Where is my cup? It's by the scissors.</p> <p>4. Where is my glue stick? It's in the box.</p>				
5分	<p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う通りに、言われた物を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> デモンストレーションをして、進め方を理解させるようにする。最初は児童が命令を聞き取りやすいように、場所を表す語句をゆっくりはっきり発音する。 ただ命令の場所に置くだけでなく、指導者に続いて発音し、それから動作をするように指示する。 	消しゴムなど		
<p>コマンド・ゲームの進め方</p> <p>T: Do you have an eraser? (指導者の消しゴムを見せ、それを机に置きながら話す。) Put it on your desk.</p> <p>S: 消しゴムを出し、机の上に置く。</p> <p>T: On the desk. S: On the desk.</p> <p>T: On the pencil case. S: On the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の上に消しゴムを置く。)</p> <p>T: In the pencil case. S: In the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の中に消しゴムを置く。)</p> <p>T: By the pencil case. S: By the pencil case. (繰り返し言い、筆箱のそばに消しゴムを置く。)</p> <p>T: Under the pencil case. S: Under the pencil case. (繰り返し言い、筆箱の下に消しゴムを置く。)</p>					

<p>5分</p>	<p>○どこにあるかな。</p>		
<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に鉛筆, 消しゴム, 定規, スティックのり, 筆箱, 色鉛筆を見せ, その言い方を確認する。児童に目をつぶらせ, その間に指導者はそれらをポケットの中や机の中, ノートの下など身の回りのどこかに隠す。 ・児童に目を開けさせ, Where is my pencil? Please guess. と言って, ポケットをたたいたり, 机の中をのぞいたりする。児童の回答やつぶやきを拾いながら位置の言い方を何度も聞いたり言ったりさせるようにする。 <p>T: Where is my pencil? Please guess. Listen to the sounds. (ポケットをたたく)</p> <p>S: Pocket?</p> <p>T: Yes, ...i...</p> <p>S: In (the pocket)!</p> <p>T: That's right. My pencil is in my pocket. Very good.</p>			
<p>5分</p>	<p>【Let's Play 1】ポインティング・ゲーム p.50, 51</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.50, 51 の写真を見ながら, 指導者が言うものをさし示す。ペアか個人で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーションをして, 進め方を理解させるようにする。 ・誌面にある物をその位置とともに言う。ねらいは, 表現を何度も聞いたり繰り返し言ったりすることから, テンポよく行うようにする。 ・児童の実態に応じて, 個人で行ってもよい。 <p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり, 聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	<p>児童用テキスト</p>
<p>4分</p>	<p>【Let's Chant】Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れてきたらスピードを変えたり, 物や場所を児童に選ばせたりして意欲を高める。 	<p>デジタル教材</p>
<p>Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!</p>			
<p>5分</p>	<p>○Let's Read and Write ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから, その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んで4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる, ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後, それらの語の最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び, 4線にその文字を書かせる。その際, ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。このねらいは, 単語の初頭音を聞き取らせるというよりは, アルファベットの小文字を書かせることであり, 機械的に書かせるのではなく, 単語の中の1文字として書かせるようにする。 ・8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.7, 13, 17, 23 のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。 	<p>デジタル教材 ワークシート (Unit 7-6)</p>

5分	<p>○絵本を読もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教材で絵本を見ながら読み聞かせを聞く。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「絵本A Letter to ...」 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、絵本の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。 指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。 絵本の内容は、動物たちが追いかけてっこをしている場面で、誰かが誰かを追いかける繰り返しである。ここで繰り返して出てくる表現から、児童が英語の語順に気付くことが予想されるが、語順への気付きは、6年生教材 We Can! 2 Unit 3 で扱っているなので、ここでは児童の気付きを認める程度とする。それよりも、登場する動物の語の初頭音の文字を合わせると WORLD PEACE となることに気付かせたい。 また、児童の実態に応じて、途中で止めて数回に分けて読むなど児童の興味を引く読み方を工夫する。 	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 2 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 2/8時間
目 標 ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりすることができる。
準 備 教師用絵カード (位置, 物), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-7), 身の回りの文房具など, デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価方法	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
7分	<p>【Let's Watch and Think】 p.50, 51</p> <p>・映像資料を見て、いろいろな場所にある物を見つける。</p>	<p>・前時の続きを視聴する。</p>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>No.1 : A yo-yo. It's on the desk. No.2 : A pencil case. It's by the book. No.3 : A pencil. It's in the pencil case. No.4 : A clock. It's on the wall. No.5 : A watch. It's under the book. No.6 : A cup. It's by the scissors. No.7 : A glue stick. It's in the box. No.8 : A ruler. It's in the cup.</p>		<p>No.9 : Glasses. They are on the notebook. No.10 : Color pencils. They are under the calendar.</p> <p>1. Where is my ruler? It's in the cup. 2. Where is my watch? It's under the book. 3. Where is my cup? It's by the scissors. 4. Where is my glue stick? It's in the box.</p>	
<p>やり取りの例</p> <p>Where is the ruler? It's in the cup. Where is the watch? It's under the book. Where is the cup? It's by the scissors. Where is the glue stick? It's in the box.</p>		<p>・「どこにあるのか」を尋ねたり答えたりする表現を知ることがねらいである。</p> <p>・誌面だけでなく、実際の児童の持ち物についても尋ねたり答えたりするやり取りを行うとよい。</p>	
7分	<p>【Let's Listen 1】 p.52</p> <p>・登場人物が探しているものを尋ねたり答えたりするやり取りを聞いて、どこにあるかを考えて誌面イラストに印を付ける。</p>	<p>・1問目を児童と一緒に考えることで、児童が進め方を理解できるようにする。</p> <p>・答え合わせの際には、単に場所を確認するだけでなく、絵を確認しながら児童と一緒に言って答えを確認する。位置を表す語句を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p>	児童用テキスト デジタル教材
<p>No.1: It's on the bed. It's blue. (ベッドの上の青いTシャツ) No.2: It's on the wall. It's blue. (壁にかかっている青い帽子) No.3: It's under the desk. It's green. (机の下にある緑のカバン) No.4: It's in the basket. It's yellow. (籠の中の黄色いTシャツ) No.5: It's by the bed. It's white. (ベッドのそばの白い猫) No.6: It's by the bed. It's brown. (ベッドのそばの茶色い本)</p>			
5分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オプション) p.52</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・慣れてきたらスピードを変えたり、物や場所を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。</p>	デジタル教材
<p>Where is the _____? It's on the desk. Where is the _____? It's on the desk. Where are the _____s? They are on / in / under / by ____. Where are the _____s? They are on / in / under / by ____.</p>			
7分	○コマンド・ゲーム	・進め方の例を示す。	身の回りの文房

	<ul style="list-style-type: none"> ・コマンド・ゲームをする。 <p>指導者が言うのを聞いて、言われた物を言われた通りのところに置く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめは児童が命令に従い易いよう場所を表す語句をゆっくりはっきり発音する。 ・ただ命令の場所に置くだけでなく、指導者の後に続いて一斉に言わせ、児童に物を置かせてから、指導者はその物を置いて答えを確認させる。 	具など 教師用絵カード (位置、物)
<p>コマンド・ゲームの進め方 T: Where is the ruler? (指導者の定規を見せ、それを示しながら話す。) S: Where is the ruler? (定規を持ち、指導者の言うことを繰り返す。) T: It's on the pencil case. S: It's on the pencil case. (繰り返し言い、on the pencil case の意味を考えて筆箱の上に定規を置く。) * 指導者の後について一斉に言うことに慣れてきたら、書画カメラに指導者の筆箱を写したり、実物を示したりしながら Where is the ruler? と質問をし、It's in the pencil case. と答えを児童に言わせるなど、尋ねたり答えたりする表現を児童の実態により、次第にレベルアップしながら進めるとよい。</p>			
7分	<p>【Let's Play 2】 p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアで、1人がある物を選び、場所に関するヒントをもとに、他方はそれが何かを考えて答える。役割を交代して続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進め方の例を示す。 ・チャンツやコマンド・ゲームで言い慣れた表現を使って、実際にやり取りをすることをねらいとしている。 	児童用テキスト
<p>進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p.52 を使用し、ペアで行う。 ・ペアの1人が、誌面の部屋の中から欲しいものを1つ決める。ペアの他方は、それがどこにあるかを尋ねる。欲しいものを決めた方は、誌面をよく見て、そのものがある場所を答える。場所を尋ねた方は、それを聞いて、相手が決めた欲しいものが何かを考えて答える。 A: 壁にかかったTシャツを選ぶ。 B: Where is it? A: It's on the wall. B: Is it a cap? A: No, it's not. It's not blue. It's white. B: O.K. It's a white Tshirt. A: That's right. ・役を交代して続ける。 			
		◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	<p>○Let's Read and Write ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つのイラストの語を確認してから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んでワークシート4線に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる、ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後、最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書く。その際、ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。ここのねらい、単語の初頭音を聞き取らせるというよりは、アルファベットの小文字を書かせることであり、機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。 ・8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.37, 41, 49, 55 のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。 	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-7)
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 3 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 3/8時間
目 標 ある物の場所や物の位置関係を表す表現を、聞いたり言ったりすることができる。
準 備 指導者の家や部屋の写真など (Small Talk 用), 教師用カード (位置, 物), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-8), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 指導者の家 (部屋)</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 <p>※写真を映し出す際には、デジタル教材の「教材どうぐばこ」→「ツール」→「画像読み込み」を活用するとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者の家 (部屋) について話す。 あらかじめ自分の家や部屋の写真を数点撮っておく。面白い置物や壁にかかっている絵, ペットなど on / in / under / by を使って場所を説明しながら, 児童が興味をもてるものがよい。 一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 	指導者の家や部屋の写真など
	<p>Small Talk の例</p> <p>T: Ta-da! Where is this? Let's guess. (写真を見せる)</p> <p>S: 部屋? House?</p> <p>T: This is my house /room. What's this? I have a cat. Her name is Taiga. Where is Taiga?</p> <p>S: On the chair.</p> <p>T: That's right. Taiga is on the chair. What's this? It's under the desk.</p> <p>S: なにかな。Bag?</p> <p>T: Yes! It's my new bag. I like this bag!</p>		
4分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? (オブション) p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れてきたらスピードを変えたり, 物や場所を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>Where is the _____? It's on the desk.</p> <p>Where is the _____? It's on the desk.</p> <p>Where are the _____s? They are on / in / under / by _____.</p> <p>Where are the _____s? They are on / in / under / by _____.</p> </div>	デジタル教材
7分	<p>○コマンド・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> コマンド・ゲームをする。 ペアで活動する。ペアの相手に言われた物を言われた命令通りの場所に置く。役割を交代しながら続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時, 前々時に行ったゲームを, 児童同士のペアで行わせる。 まず, 指導者と児童とで行い, 進め方を思い出させたいうで, 児童同士で行わせる。 	身の回りの文具品など 教師用カード (位置, 物)
7分	<p>【Let's Listen 2】 p.53</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声を聞いて, 登場人物の部屋がどれかを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> あらかじめ誌面で4種類の部屋の違いを確認する時間を取ってから, 音声を聞かせるとよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto;"> <p>No.1: Hi, I'm Hana. This is my room. I have a cap on the wall. I have a bat on the chair. I have a bag on the desk. I have a book on the mat.</p> <p>No.2: Hi, I'm Kenta. This is my room. I have a cap on the mat. I have a bat under the desk. I have a bag on the chair. I have a book on the bed.</p> <p>No.3: Hi, I'm Laksh. This is my room. I have a cap by the mat. I have a bat under the bed. I have a bag under the desk. I have a book under the chair.</p> </div>	デジタル教材 児童用テキスト

7分	<p>【Let's Play 3】 p.53</p> <p>・ペアで活動する。1人が4つの中から部屋を選ぶ。物がある場所の説明を聞き、他方はそれがどの部屋かを答える。</p>	<p>・まず、指導者と児童全員で行い、進め方を理解させるようにする。</p> <p>進め方 S1: (No.3の部屋を選ぶ) This is my room. I have a cap by the mat. I have a bat under the bed. I have a bag under the desk. I have a book under the chair. S2: No.3 (is your room). S1: That's right.</p> <p>◎ある物の場所や物の位置関係を表す表現が分かり、聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>○Let's Read and Write ③</p> <p>・8つのイラストの語をみんなで言ってから、その語の最初の小文字を5つの文字の中から選んでワークシートの4線に書く。</p>	<p>・これまでに音声で十分に慣れ親しんでいる、ワークシートにある8つのイラストの語を児童と確認する。その後、最初の音のアルファベットの文字を5つの中から選び、4線にその文字を書く。その際、ワークシート上部にあるアルファベットの文字を参考にさせるとよい。このねらいは、単語の初頭音を聞き取らせるというよりは、アルファベットの小文字を書かせることであり、機械的に書かせるのではなく、単語の中の1文字として書かせるようにする。</p> <p>・8つの語の音声をデジタルで聞かせることも可能である。p.61, 63, 73のページ下のイラストをクリックすると音声流れる。</p>	デジタル教材 ワークシート (Unit 7-8)
5分	<p>○絵本を読もう。</p> <p>・絵や文字を見ながら読み聞かせを聞く。</p> <p>デジタル教材：「教材どうぐばこ」→「ツール」→「Hi, friends! Plus」→「絵本A Letter to ...」</p>	<p>・絵本を読み聞かせる際には、一方的に絵本の台詞を読むのではなく、児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで、絵本の筋についての理解を助けるとともに、児童を絵本の世界に引き込むことができる。</p> <p>・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。デジタル教材を使って読み聞かせをしてもよい。</p> <p>・時に質問をしたり、次の展開を児童と予想したり（思い出したり）しながら進め、児童の興味を引く読み方を工夫する。</p>	デジタル教材
4分	<p>・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 4 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 4/8時間
目 標 建物の言い方や、道案内の表現を知り、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。
準 備 教師用カード (建物, 方向), 児童用テキスト, ワークシート (Unit 7-5), デジタル教材, 振り返りカード

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 様々な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 本時のめあてと流れを児童と確認する。 指導者が学校に来る際に前を通ったり、見かけたりする施設について話す。一方的に話すのではなく、児童に質問をし、児童を巻き込むように話す。また、この活動を通して、建物の言い方に会わせ、本時の最後の活動につなげる。 	教師用カード (建物)
<p>Small Talk の例</p> <p>T : (黒板に簡単な家の絵を描く。) This is my house. (黒板に学校の絵を描く。) This is our school. From my house to school, I see a library. (家と学校の間に図書館のカードを掲示する。) From the library to school, I see a fire station. (図書館と学校の間に消防署のカードを掲示する。) (同様に、supermarket, post office, police station, gas station のカードを掲示する。)</p> <p>T : Do you see a (library / fire station / supermarket / post office / police station / gas station) from your house to this school? (全体に尋ねた後、個別に数名の児童に尋ねる。)</p> <p>S1: Yes.</p> <p>T : I see a library from my house to school. How about you, S1?</p>			
6分	<p>○フェイント・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> フェイント・ゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初に左, 右, 直進の進み方について英語での言い方を、指導者の後に続いて一斉に言い、その後実際に動くようにさせるとよい。 ゲームの進め方を示す。 何度かフェイントなしで一緒に行った後、フェイントも加えてゲームを行う。 	
<p>例 (左右前後を分かりやすく刷るため、指導者と全児童が同じ方向を向いて行う。)</p> <p>T: Turn left. (言ってから左に身体を90度向ける。) S: Turn left. (言ってから左に身体を90度向ける。)</p> <p>T: Go straight (言ってから1歩前に進む。) S: Go straight. (言ってから1歩前に進む。)</p> <p>T: Turn right. (フェイントをかけて左に身体を90度向ける。)</p> <p>T: Turn right. (フェイントに惑わされず右に身体を90度向けた児童は正解。)</p>			
17分	<p>【Let's Listen 3】 p.54</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の音声聞いて、どこの建物に行くかを考えて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 始める前に、地図を見て、どこにどんな建物があるのかなどを確認しておく。誌面上にある建物のイラストを見て、イラストからそれらが何かを推測させる。指導者と一緒に言わせる。デジタル教材を聞かせて言わせてもよい。 No.1からNo.4は簡単な道案内で進み方を理解し、自信を付けることをねらいとしている。しかし実際には道にドットはないため、No.5からは、より実際に即した言い方での道案内としている。どれくらい真っすぐ進むのかを for~block(s) で表し、更に少し進む場合には keep going という表現を使っている。No.5は聞きながら繰り返し発音し、一緒に進むなど丁寧に指導する。 	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (建物・方向)

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 答え合わせの際には、一時停止をしながら表現を指導者の後について一斉に言わせる。その都度一緒に進み、行き着く先を確認するようにし、言い方と進み方が分かるようにする。 ・ ここでの解答が次の Let's Read and Write で重要になることから、行き着いた先の建物名についても児童としっかり確認をしておく。 	
<p>No.1 : Turn left. Go straight. You can see it on your right. (解答 : post office) No.2 : Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : department store) No.3 : Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : police station) No.4 : Go straight. Go straight. Turn left. Go straight. Go straight. You can see it on your right. (解答 : library) No.5 : Go straight for three blocks. Turn left. Go straight for one block. Keep going. You can see it on your right. (解答 : bookstore) No.6 : Go straight for one block. Turn right. Go straight. You can see it on your left. (解答 : fire station) No.7 : Go straight for two blocks. Turn left and go straight for one block. Keep going. You can see it on your right. (解答 : gas station) No.8 : Go straight for two blocks. Turn left. Go straight. You can see it on your right. (解答 : supermarket)</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 再度、建物の言い方を繰り返して聞かせ、ミッシング・ゲームなどをして、建物の言い方に慣れ親しませるとよい。 	
<p style="text-align: center;">ミッシング・ゲームの進め方</p> <p>黒板に建物のカード8枚を掲示し、児童とその言い方を確認する。全てのカードを外し、その中から1枚カードを除く。取り除いたカード以外を再度黒板に掲示しながら、建物名を一緒に言う。最後に黒板にないカードを当てるゲーム。隠す数は1枚から始め4枚程度(実態に応じて)まで。児童に目を閉じさせてカードを隠して、なくなったカードの語を言わせる方法もある。</p>			
7分	<p>○ Let's Read and Write ④ (p. 54)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アルファベットの文字を見つけ、その単語を書き、類推しながら読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Listen 3 で解答となった建物の言い方を順に、デジタル教材で聞かせる。ワークシートで、聞こえた建物名の下の語の中で空欄になっている箇所を、誌面 p.54 の建物イラストの下の語を見ながら書き写させる。 ・ 文字を書き写して完成した語を、児童自身が推測しながら読んでみるよう促す。その後、ペアで推測した読みを共有するとよい。どんな読みになりそうか、児童から出た意見を全員で共有し、指導者と一緒に読む。 	デジタル教材 児童用テキスト ワークシート (Unit 7-5)
<p style="text-align: center;">児童が書き写す文字</p> <p>① f: post office, a: police station, m: supermarket, i: library → family (l と y についてはワークシートに記載有)</p> <p>② r, e: fire station, n: gas station, d, s: department store → friends (f と i についてはワークシートに記載有)</p>			
		<ul style="list-style-type: none"> ◎ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉 ◎ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を推測して読んでいる。〈行動観察・振り返りカード点検〉 	
5分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p. 52</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。 	デジタル教材

		<div data-bbox="352 226 1206 584" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!</p> </div>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・ 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・ 挨拶をする。 	振り返りカード

5年 Unit 7—Lesson 5 単元名	Where is the treasure?	位置と場所	5/8時間
目 標	道案内の表現を聞いたり言ったり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。		
準 備	児童用テキスト、ワークシート (Unit 7-4)、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
3分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <p>・チャンツを言う。</p>	<p>・慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を児童に選ばせたりして意欲が高まるようにする。</p>	デジタル教材
		<p>Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!</p>	
5分	<p>○コマンド・ゲーム (グループ)</p> <p>・4人組などのグループで行う。</p>	<p>・フェイント・ゲームやチャンツで繰り返してきた道案内の表現を使って、ゲームを行うことで、実際に道案内の表現を何度も聞いたり言ったりして慣れ親しませることがねらいである。</p>	
<p>コマンド・ゲームの進め方</p> <p>(AとB: 方向や進み方を言う役, CとD: 命令に従って行動する役)</p> <p>A: Turn right. CD: Turn right. (繰り返し言ってから右に45度回る。)</p> <p>B: Go straight. CD: Go straight. (繰り返し言ってから前に1歩進む。)</p> <p>A: 命令 → CD: 従う → B: 命令 → CD: 従う, の順で繰り返す。</p> <p>・間違ったら交替や、2回ずつ命令したら交替などのルールで、役割を交替しながら繰り返す。慣れてきたら、スピードを上げ、正確に素早く動くようにしていく。</p>			
10分	<p>【Let's Listen 4】 ①p.56, 57</p> <p>・道案内の音声聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。答えを確認して言う。</p>	<p>・誌面p.56, 57の地図を使って宝探しをすることを伝える。始める前に、地図の中にどのようなものがあるかを児童と確認するとよい。(fox, turtles, ice, ants, raccoon dog, fish, mouse, pheasant, rabbit, snake, treasure box, eggs, wild boar, many trees)</p> <p>・道案内は4つのパートに分かれている。1つ目のtreasureに行き着くと、そこからが次のスタート位置となる(初めの場所に戻らない)。そのため、全体を終えてから答え合わせをするのではなく、1問ずつ答えを確かめながら進むとよい。行き着く先ものを集めるとtreasure boxにまた1つ宝物が増えることを楽しみにしながら、道案内を聞き取ることへの意欲を高めたい。</p>	デジタル教材 児童用テキスト

5年 Unit 7—Lesson 6 単元名	Where is the treasure?	位置と場所	6/8時間
目 標	ある物の場所を尋ねたり答えたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができるとともに、推測しながら読む。		
準 備	校内地図など (Small Talk 用)、児童用テキスト、ワークシート (Unit 7-4)、デジタル教材、振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
6分	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 <p>○Small Talk : 校内の好きな場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導者の話を、反応を示したり、質問について考えたり答えたりしながら聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 校内の好きな場所について話をする。 一方的に話さず、児童に質問したりしながら児童を巻き込むようにする。 	校内地図など
<p>Small Talk の例</p> <p>T: Where is your favorite place in the school? Where is it? Music room? Gym? Classroom?</p> <p>S: Ground!</p> <p>T: Oh, the playground? Who likes the playground the best? Raise your hands.</p> <p>OK. I'll take you to my favorite place. (校内地図で示したり、板書したりしながら教室からの行き方を指導者に続いて一緒に言うときよい。) Go straight. Turn right at the first corner. Go down. Go down. Turn right. (ジェスチャーを付け、児童の様子を見ながら文と文の間に間をおいて児童の理解を確かめながら) Where is it?</p> <p>S: Library!</p> <p>T: That's right! I like the library. I like reading books. Who likes the library the best?</p> <p>Raise your hands. Good. This is my favorite book. Look. (実物を見せる)</p>			
4分	<p>【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れてきたらスピードを変えたり、道案内を選ばせたりして、児童の意欲を持続させるようにする。 	デジタル教材
<p>Where is the treasure? Where is the treasure?</p> <p>Go straight. (Echo: Go straight.)</p> <p>Turn left. (Echo: Turn left.)</p> <p>Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.)</p> <p>Go straight. (Echo: Go straight.)</p> <p>Turn right. (Echo: Turn right.)</p> <p>Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.)</p> <p>You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat</p> <p>What can you see?</p> <p>It's the treasure!</p> <p>Oh, yeeeh!</p>			
10分	<p>【Let's Listen 4】 ②p.56, 57</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の音声を聞いて、鉛筆でなぞりながら進む。 答えを確認して言ってみる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同様に、誌面 p.56, 57の地図を使って宝探しをすることを伝える。始める前に、地図の中にどのようなものがあるかを児童と確認する。(fox, ice, turtles, ants, raccoon dog, fish, mouse, rabbit, pheasant, snake, treasure box, eggs, wild boar, many trees) 道案内は4つのパートに分かれている。1つ目の treasure に行き着くと、そこからが次のスタート位置となる(はじめの場所に戻らない)。そのため、全体を終えてから答え合わせをするのではなく、1問ずつ答えを確かめながら進むときよい。行き着く先のもを集めると treasure box にまた1つ宝物が増えることを楽しみにしながら、道案内を聞き取ることへの意欲を高めたい。 	デジタル教材 児童用テキスト

5年 Unit 7-Lesson 7 単元名	Where is the treasure?	位置と場所	7/8時間
目 標	ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合うとともに、他者に配慮しながらある物やそれがあある場所について説明しようとする。		
準 備	ワークシート (教室地図 No.1 児童用, 教室地図 No.2 児童用, 暗号カード各種, 不完全暗号シート: Unit 7 指導案に添付), デジタル教材, 振り返りカード		

※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

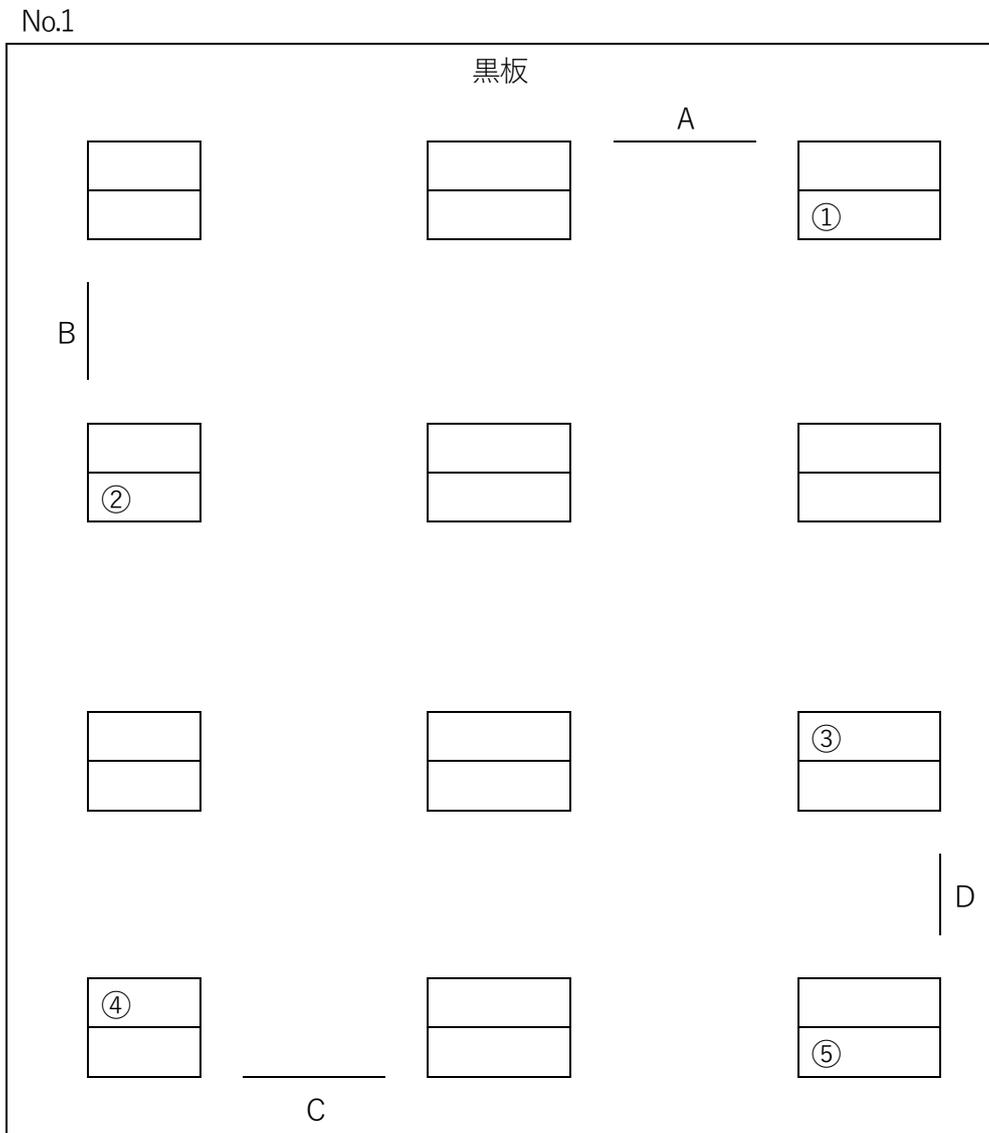
時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し、個別に数名の児童に挨拶する。 ・本時のめあてと流れを児童と確認する。	
5分	【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52 ・チャンツを選んで言う。	・児童の実態により、スピードやオプションを選ぶ。 Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!	デジタル教材
35分	○宝物を探そう。 ・ペアで協力して、教室に隠された暗号カードを見つける。1人が道案内、もう1人がその指示に従ってカードを探す。役割を交代して進める。	・本単元指導案に添付の「暗号カード」を事前に切り離して数枚ずつ用意しておき、「教室地図」に従って、暗号カードを隠す。 ・ペアになり、1人が道案内、もう1人がカードを探す人になって、必要な暗号カードを時間内にできるだけ見つけるよう言う。たくさん見つけたほうが、あとで暗号が解きやすいことも伝え、児童の意欲を高めるようにする。 ・活動を途中で止め、中間評価を入れ、よい事例をみんなの前で発表し、相手にきちんと伝えるためには、互いにどうするのが良いかを確認してから、後半を始めるとよい。そうすることで後半の活動がよりねらいに沿ったものになる。 ※ワークシート Unit 7-2 が暗号コード正解である。	ワークシート 教室地図No.1 児童用 教室地図 No.2 児童用 暗号カード各種 (ペアの数分、事前に切り離しておく) 不完全暗号シート (ペアに1枚)
	進め方・ルール ・ペア (No.1と No.2) で活動する。No.1児童は、「宝の地図 No.1 児童用」を見ることができるが、動くことができない。No.2 児童は「宝の地図 No.2 児童用」を見ることができないが、動くことができる。ペアで協力して、地図を見られる方は道案内をし、動ける方は道案内を聞いて暗号カードを見つける宝探しをする。地図は互いに見せ合ってはいけない。前半時間終了までは同じ役割で沢山の暗号カードを見つける。後半時間は役割を交代する。 ・地図を見て道案内をする方は、他方が実際に案内をした場所に行きついたか確認をし、自分が道案内をした以外の場所の暗号カードは見つけても取ってはいけないルールを守らせる役目も担う。		
		◎ある物の場所を尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎他者に配慮しながら、ある物やそれがあある場所について説明している。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
3分	・本時の活動を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

5年 Unit 7-Lesson 8 単元名	Where is the treasure?	位置と場所	8/8時間
目 標	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語を書き写すことができる。		
準 備	ワークシート (教室地図 No.1 児童用, 教室地図 No.2 児童用, 暗号カード各種, 不完全暗号シート: Unit 7 指導案に添付, 7-1, 7-3), デジタル教材, 振り返りカード		

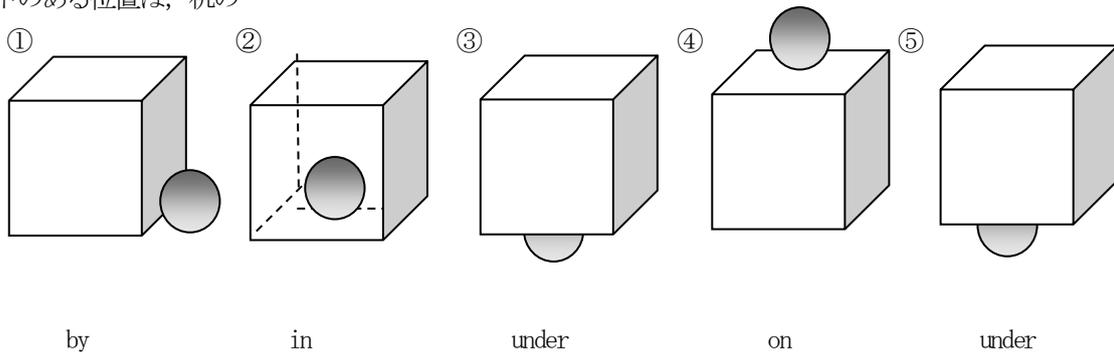
※デジタル教材で特に表記のないものに関しては該当学年のものを使用する。

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶し, 個別に数名の児童に挨拶する。	
5分	【Let's Chant】 Where is the treasure? p.52 ・チャンツを言う。	・児童の実態により, スピードやオプションを選ぶ。 Where is the treasure? Where is the treasure? Go straight. (Echo: Go straight.) Turn left. (Echo: Turn left.) Turn left at the first corner. (Echo: Turn left at the first corner.) Go straight. (Echo: Go straight.) Turn right. (Echo: Turn right.) Turn right at the second corner. (Echo: Turn right at the second corner.) You can see it on your right. (Echo: You can see it on your right.) *Repeat What can you see? It's the treasure! Oh, yeeeh!	デジタル教材
27分	○Let's Read and Write ⑦ ・ワークシート (Unit 7-3) にアルファベットの文字を書き写し, 単語を完成させる。	・進め方の例を示す。 ・前時の活動で見つけた暗号カードの情報を, 「不完全暗号シート」に記入し, 暗号シートを見ながら, ワークシートの4線にアルファベットの文字を丁寧に書き写すように言う。 ・学級の人数によっては, 暗号カードをペアで見つけたものだけでなく, グループで共有するなどのルールを追加してもよい。 ◎アルファベットの活字体の小文字を書いて単語を完成させている。〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 7-3) 不完全暗号シート 前時に見つけた暗号カード
	○宝物が何かを解明し, 自分の宝物を探そう。 ・ワークシートの宝箱の中に前活動で見つけた宝物 (単語) を書き写し, その単語をペアで協力して読んでみる。 ・宝箱の中に集めたもののうち, 自分の宝物と思えるものを3つ選択し, ワークシートの4線に書き写して, その3つを班の中で交流する。	・宝箱の中に集めたもののうち, 自分の宝物と思えるものを3つ選択して丁寧にワークシートの4線に書き写すよう促す。 ・書き写した文字でできた単語は, 読み方の規則からは難しいものであるが, これまでに音声で慣れ親しんでいるものである。児童が推測しながら読むとする姿を応援したい。 ・選んで書き写した自分の宝物を, 班の友達と交流するよう言う。 ◎音声で慣れ親しんだ簡単な語を書き写している。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	ワークシート (Unit 7-1)
7分	【STORY TIME】 p.55 ・絵本の読み聞かせを聞く。 On our way home マリア : Where is the park? かず : Go straight and turn right. We can teach Maria about our town.	・児童用テキスト p.55 の絵本ページの読み聞かせを, デジタル教材を使って, あるいは指導者が読んで行く。 ・絵本を読み聞かせる際には, 一方的に絵本の台詞を読むのではなく, 児童と各ページにあるさまざまなイラストや話の筋についてやり取りしながら読むようにする。そうすることで, 話の筋についての理解を助けるとともに, 児童を絵本の世界に引き込むことができ	デジタル教材 児童用テキスト

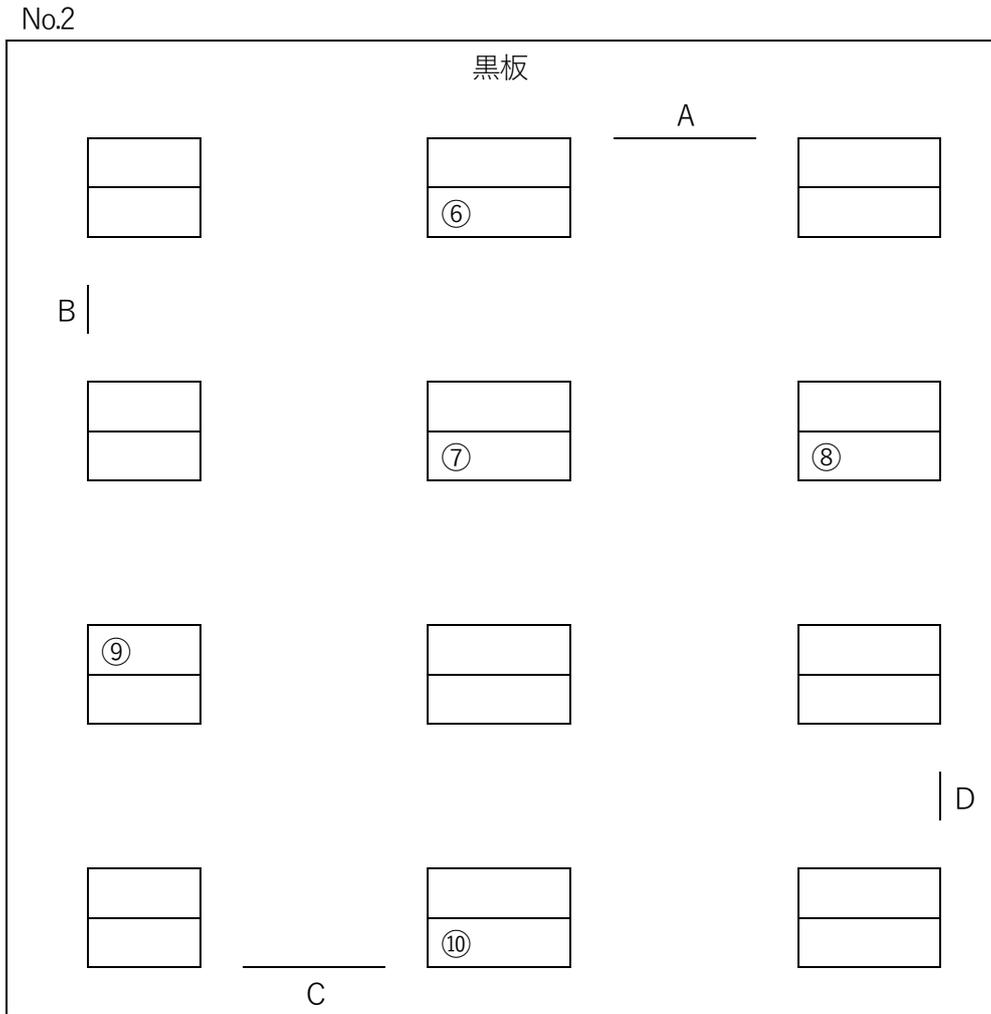
		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高学年で扱っている絵本のページに記されている台詞は、やがて児童が読み聞かせを聞きながら絵本の台詞を指で追って聞いたり、自分で読むことに挑戦したりすることを想定し、短く単純なものにしている。よって、指導者が台詞以外の言葉を加えながらやり取りを行い、児童の想像を膨らませるようにすることが大切である。 ・指導者は、ジェスチャーを付け、表情豊かに読む。これらも児童にとっては、物語の筋を理解するうえで大切な情報源となる。 	
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び単元のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。 	振り返りカード



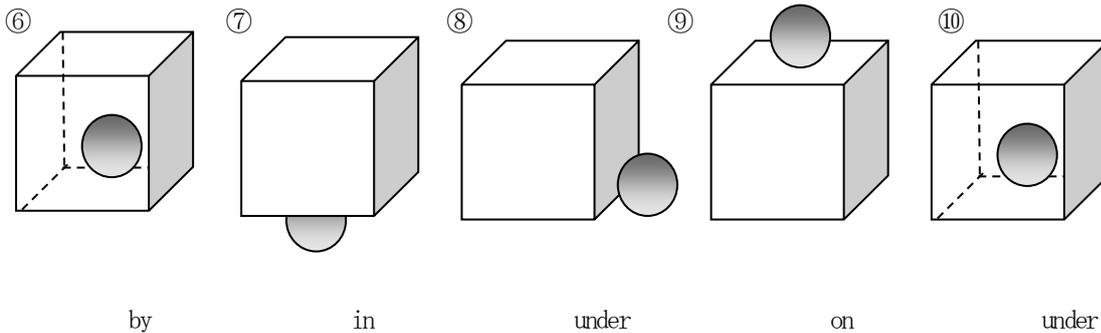
暗号カードのある位置は、机の



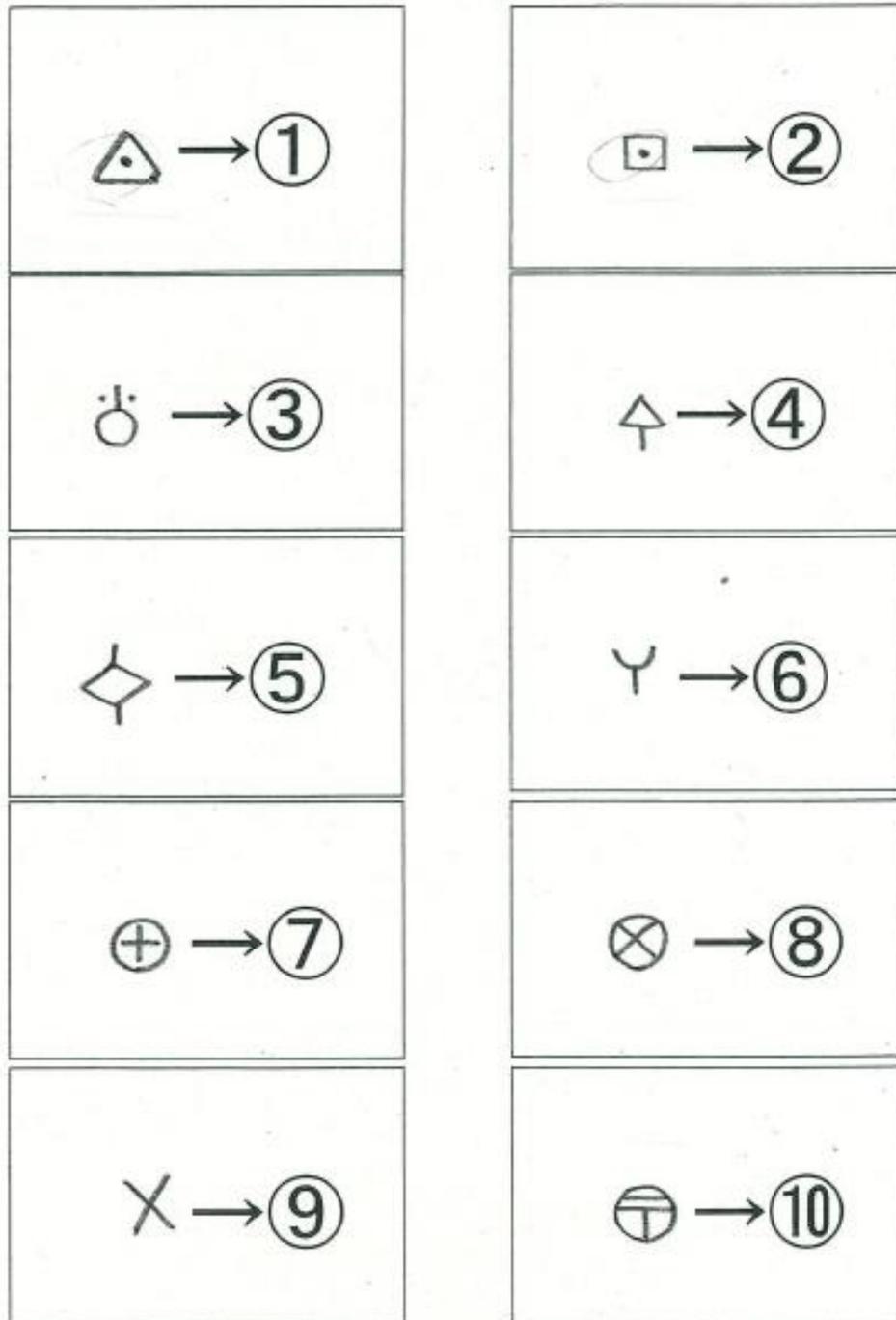
教室地図 No.2 児童用



暗号カードのある位置は、机の



暗号カード (ペア数分コピーし、カードを切り離し、教室地図通りに隠す)



不完全暗号シート (各ペアに1枚)

文	①	田	金	②	田	金	③	开	④	𠂔	山	⑤
g	s	w	c	m	o	y	a	k	i	q	v	d
⑥	Λ	Q	⑦	〇	⑧	∴	𠂔	⑨	𠂔	⚙	⑩	∴
l	b	u	r	t	f	j	n	e	z	h	p	z